
父と母の主張

黒辺あゆみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

父と母の主張

【Nコード】

N8534T

【作者名】

黒辺あゆみ

【あらすじ】

すっかり裏山から竜の子を拾ってきたコニーのせいで、竜を飼うことになった家族。そんな怪力少年コニーと、飼い竜ポチについて、父と母が語ってくれました。

S i d e ト ム

俺の名はトム。ピートとコニーの父だ。

俺の家は代々木こりをしているのだが、子供の頃、俺の父が「世間を見て来い」と言ってくれたので、都の学校へ行かせてもらった。そして軍に入り、運良く隊長にまでなれたんだが、どうにも自然が懐かしくなってしまうって辞めた。その時都からついてきてくれたのが、今のかみさんだ。俺が言うのもなんだが、美人で都でも人気があっただぞ。

こほん、話が逸れたな。

とにかく。そんな俺とかみさんの子であるピートとコニー、特にコニーの話だ。いつだったか、一人で裏山に入りたがって駄々をこねた。それまではピートか俺と一緒にやなければダメだと言って聞かせてきたのだが、コニーももう十歳になるし、まあいいかと思っで行かせたんだ。知らない辺りには行かない約束で。コニーも木こりの子だから、山の怖さは分かっているからおかしなことはすまいと信じて。

それが、帰ってきたら変な生き物を連れていた。ピートが言うには竜の子供じゃないかって言うんだ。竜って言ったら、ここからずーずーと離れた山に住んでいるって聞くぞ。それがなんでこんな山に。しかも汚れ具合からして、一週間はあの辺りをさまよっていたんじゃないかという話だ。俺が全然気付かなかったものを、どうしてコニーが見つけたのかが謎だ。

うちのかみさんが大丈夫だと言うんで家で飼うことになったんだが。とにかくコニーが夢中でな。食事もトイレも遊ぶのも寝るのも、

一日中一緒にいるんだ。見た目はなんていうか、一番近いのは毛の生えたトカゲみたいなんだが、とにかく可愛がっている。でも竜に、あの竜につける名前がポチってというのはどうだろうか。将来あの竜の話を聞きつけた魔術師が聞いたらどう思うだろうか。いや、こんな田舎に来るような酔狂な魔術師はいないだろうが。それに、コニーの愛は危険と表裏一体だ。馬鹿力で竜を絞め殺そうとしたことが何度あったことか。竜の親に復讐されるのはゴメンだからな。

S i d e メ リ ー

私はメリーっていうの。子供たちのお母さんよ、よろしくね。

私は都生まれの都育ち。都には兄二人がいるわ。私は魔術師をしていたのだけれど、軍で若くして隊長をしていたお父さんにヒトメボレしたの、キャツ 生まれ故郷に帰るっていうお父さんに、半ば押しかけるみたいにしてついてきたの。お父さんは途中で嫌になって帰るだろうと思ったみたいだけど、愛があればどこへだって行くわ私！

そんな私とお父さんの愛の結晶、ピートとコニーはとにかく可愛いよ！ピートはお父さんに似てるけど、コニーは私に似たみたい。魔術師の素質があるのよね。私の実家は魔術師の家系だから。あの子の馬鹿力も、無意識に手に魔力を込めるからじゃないかしらって思うの。ポチちゃんを見つけたときも、コニーに聞いたら「そつちに行かなきゃいけない気がした」そうなのよ。ポチちゃんの竜の魔力が呼んだのね。

竜は、誤解されがちなんだけども、こちらから危害を加えない限りは、とつても大人しい、穏やかな種族なのよ。ポチちゃんはたぶん、生まれて間もないんじゃないかしら。火を吹くのも飛ぶのもヘタクソなもの。同族なんてこの辺りにはいないから、ポチちゃん

の成長についてはそのうち考えなければならぬでしょうね。折を見て兄たちに相談してみることにするわ。

それはいいんだけど。ポチちゃんって、ちょっと太りやすいのかしら？野生に比べてカロリー消費が足りないせい？一度ダイエツトで懲りたのか、ポチちゃんも体型に気を遣っているみたいんだけどね。やっぱり、なんていうか、全体的に丸いのよねえ。まだ子供で、尻尾も短いことも影響しているんでしょうけど。親竜に怒られちゃうかしら？コニーはちょっと太めの方が触り心地がいいらしいのだけけど。

でも可愛いからいいわよねっ

(後書き)

「迷子の竜シリーズ」にたくさんの方にアクセスいただき、ありがとうございます！感想などがあれば、一言残していただけるとうれ
しいです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8534t/>

父と母の主張

2011年7月9日12時20分発行